

施設カルテ

施設番号	2544	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/14
施設基本情報					
施設名	横尾 観光施設用地				
所在地(住所)	北区横尾0030-006-00				
所管局区室課	経済局観光コンベンション推進課				
FM大分類	その他施設	FM中分類	その他公共用施設		
財産中分類	公共用財産	地区	一宮		
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	観光施設		
中学校区	中山中学校	小学校区	馬屋下小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし		
管理運営	直営	延床面積	26.22 m ²		
目的外使用	無	建築面積	26.22 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	2,657.00 m ²		

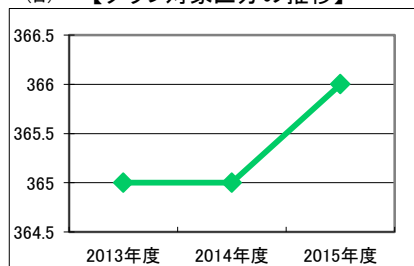


施設概要	鉄筋コンクリート造							
設置目的	観光の利便のため。							
設置根拠	なし							
用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %			
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	10 台			
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×		地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		地震・揺れやすさ	震度4以下の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×		地震・液状化危険度	極めて低い
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし		土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1972/03/31
							供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	365	365	366	★
1日当たり運営時間	時間	24	24	24	
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2544 施設名 横尾 観光施設用地

財務情報

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	0	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	0
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0	0	0
非常勤	0	0	0

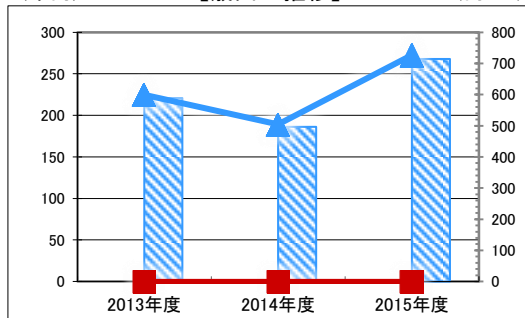
※運営人員数の人件費は理論値です。

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	外 訳	直営	使用料及び手数料	-
目的外使用料	-	-	-	

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

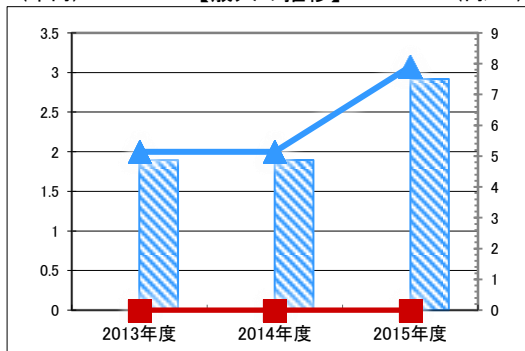
施設分類	その他公共用施設	総施設数	38
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	-	0
2014年度	0	-	0
2015年度	0	-	0

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

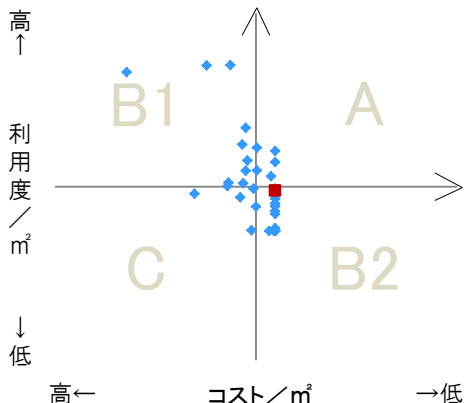
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 2545 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	宝伝 海水浴場		
所在地(住所)	東区宝伝3904-001-00		
所管局区室課	東区役所総務・地域振興課		
FM大分類	その他施設	FM中分類	その他公共用施設
財産中分類	公共用財産	地区	—
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	観光施設
中学校区	—	小学校区	—
複合化状況	無	防災上必要な施設	—
管理運営	直営	延床面積	42.70 m ²
目的外使用	有	建築面積	42.70 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	1,566.00 m ²

施設概要 便所、倉庫

設置目的 海水浴利用者のために設置。

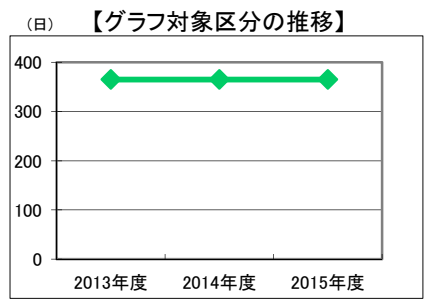
設置根拠 —

用途地域 — 法定容積率 0% 法定建蔽率 0%

用途地域以外の指定地域	—	全棟数	2棟	駐車台数	30台			
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし	
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	出入口	—	津波時の浸水深	1.0~2.0m未満
	冷暖房設備	×	設備(電気)	○	廊下等	—	地震・危険度	—
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	階段	—	地震・揺れやすさ	震度5強の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	昇降機	—	地震・液状化危険度	極めて低い
	入浴設備	×	分煙対策	指定なし	便所	○	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	駐車場	—	開設年月日	1900/01/01
							供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	365	365	365	★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人	8,341	9,220	9,626	
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

利用者数: 海水浴場開設期間の数

備
考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号	2545	施設名	宝伝 海水浴場
------	------	-----	---------

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		1,126	1,102	1,155	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	65	72	72
		ガス	0	0	0
	水道	53	49	53	
修繕費	-	-	-		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	1,008	982	1,030	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

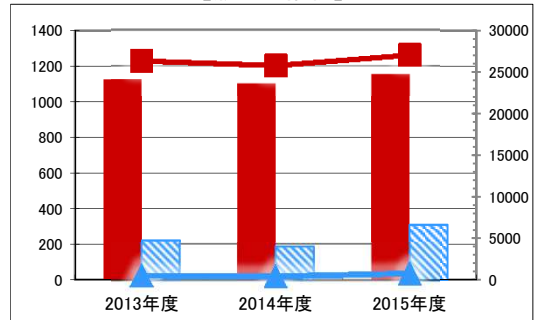
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

施設分類	その他公共用施設	総施設数	38
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	1,126	第2位	26,369
2014年度	1,102	第1位	25,810
2015年度	1,155	第2位	27,057

【歳出の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
 例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

【歳入の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
 例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

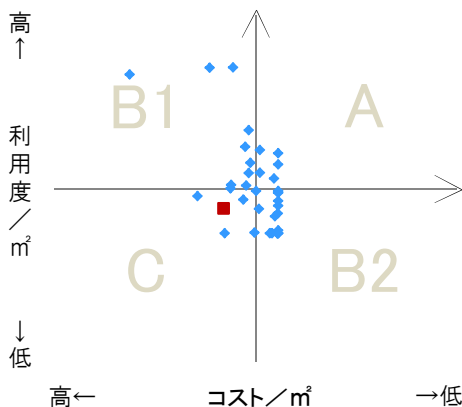
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
 ・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	2548	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/01
施設基本情報					
施設名	足守 公衆便所				
所在地(住所)	北区下足守0467-000-00				
所管局区室課	経済局観光コンベンション推進課				
FM大分類	その他施設	FM中分類	その他公共用施設		
財産中分類	公共用財産	地区	足守		
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	観光施設		
中学校区	足守中学校	小学校区	足守小学校		
複合化状況	有	防災上必要な施設	指定なし		
管理運営	直営	延床面積	6.38 m ²		
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	20.72 m ²		

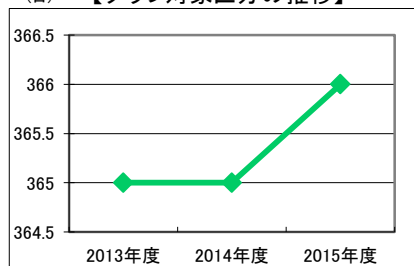


施設概要	公衆便所(大便器1、小便器2)									
設置目的	観光施設(公衆便所)									
設置根拠	なし									
用途地域	—	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %					
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台					
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×		地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域		
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		地震・揺れやすさ	震度5強の地域		
	調理設備	×		その他省エネ	×		地震・液状化危険度	低い		
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし		土砂災害計画区域等	指定なし		
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1976/03/31	供用廃止日	—
							出入口	×		
				廊下等	×					
				階段	×					
				昇降機	×					
				便所	×					
				駐車場	×					

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	365	365	366	★
1日当たり運営時間	時間	24	24	24	
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2548 施設名 足守 公衆便所

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		105	114	143	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	15	17	16
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	37	
外	役員費	0	7	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	90	90	90	

●運営人員数(人)

常勤	0	0	-
非常勤	0	0	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

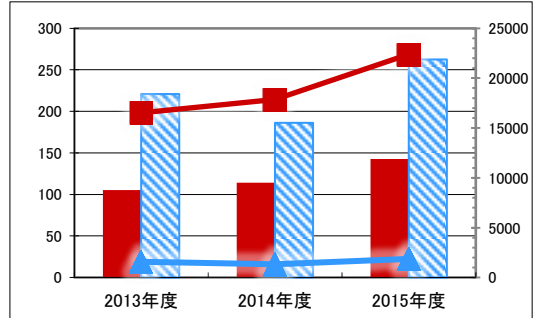
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

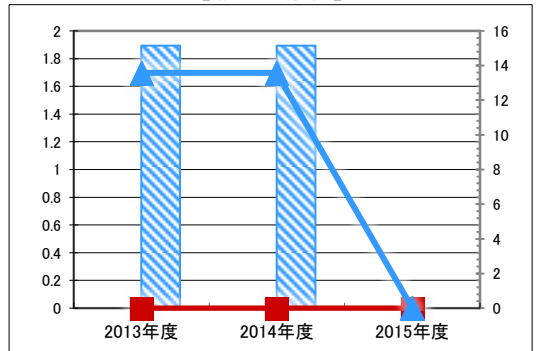
施設分類	その他公共用施設	総施設数	38
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	105 第17位	16,520	第6位
2014年度	114 第18位	17,866	第7位
2015年度	143 第17位	22,386	第6位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

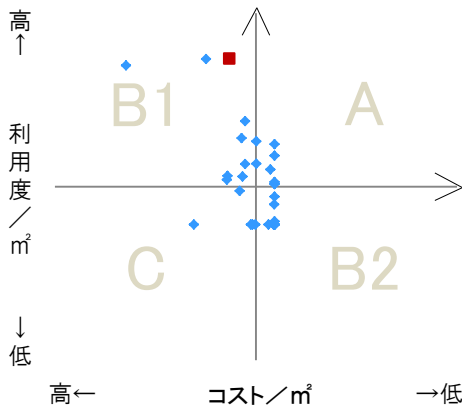
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

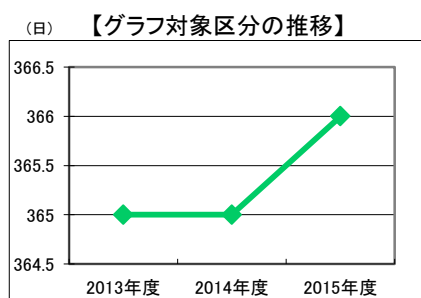
施設番号	2550	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/14
施設基本情報					
施設名	金甲山 公衆便所NO1				
所在地(住所)	南区郡0000-000-00				
所管局区室課	経済局観光コンベンション推進課				
FM大分類	その他施設	FM中分類	その他公共用施設		
財産中分類	公共用財産	地区	児島		
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	観光施設		
中学校区	光南台中学校	小学校区	甲浦小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし		
管理運営	直営	延床面積	15.37 m ²		
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²		



施設概要	コンクリートブロック造									
設置目的	観光の利便のため									
設置根拠	なし									
用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %					
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台					
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×		地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域		
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		地震・揺れやすさ	震度5弱の地域		
	調理設備	×		その他省エネ	×		地震・液状化危険度	極めて低い		
	入浴設備	×		分煙対策	屋外喫煙		×	土砂災害計画区域等	指定なし	
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1958/03/31	供用廃止日	—
							出入口	×		
				廊下等	×					
				階段	×					
				昇降機	—					
				便所	×					
				駐車場	×					

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	365	365	366	★
1日当たり運営時間	時間	24	24	24	
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2550 施設名 金甲山 公衆便所NO1

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	0	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	0
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0	0	0
非常勤	0	0	0

※運営人員数の人件費は理論値です。

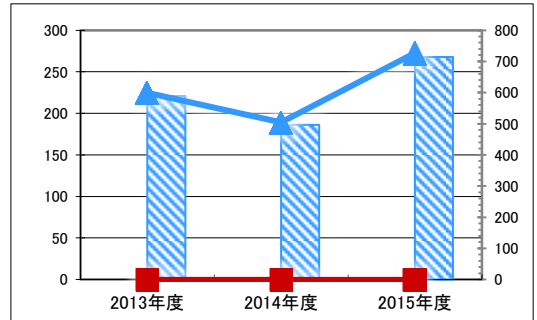
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	外 訳	直営	使用料及び手数料	-
目的外使用料	-	-	-	

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

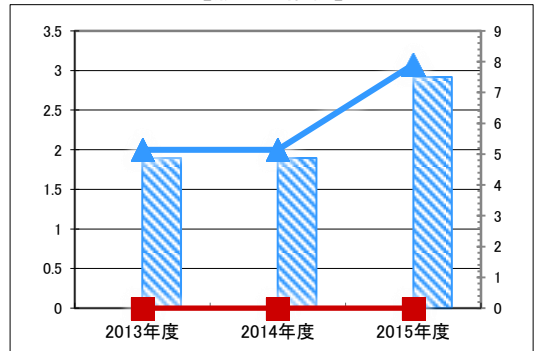
施設分類	その他公共用施設	総施設数	38
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	0	-
2014年度	0	0	-
2015年度	0	0	-

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

特記事項

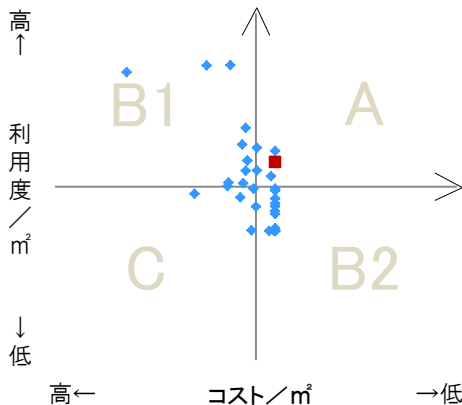
26.3.31現在使用されていない

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	2551	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/14
施設基本情報					
施設名	金甲山駐車場 公衆便所				
所在地(住所)	南区郡2515-002-00				
所管局区室課	経済局観光コンベンション推進課				
FM大分類	その他施設	FM中分類	その他公共用施設		
財産中分類	公共用財産	地区	児島		
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	観光施設		
中学校区	光南台中学校	小学校区	甲浦小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし		
管理運営	直営	延床面積	25.90 m ²		
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	1,947.00 m ²		

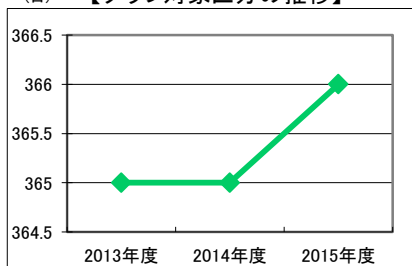


施設概要	鉄筋コンクリート造										
設置目的	観光の利便のため										
設置根拠	なし										
用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %						
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	30 台						
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	出入口	×	洪水時の浸水深	指定なし	
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	—	津波時の浸水深	指定なし	
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×		階段	×	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域	
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度5弱の地域	
	調理設備	×		その他省エネ	×		便所	×	地震・液状化危険度	極めて低い	
	入浴設備	×		分煙対策	屋外喫煙		化	駐 車 場	○	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1989/03/31	供用廃止日	—	

供給情報

区 分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	365	365	366	★
1日当たり運営時間	時間	24	24	24	
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2551 施設名 金甲山駐車場 公衆便所

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	0	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	0
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0	0	0
非常勤	0	0	0

※運営人員数の人件費は理論値です。

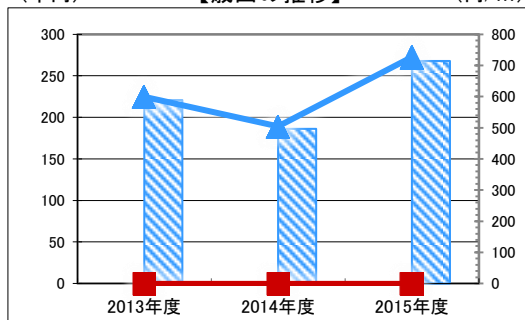
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 訳 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

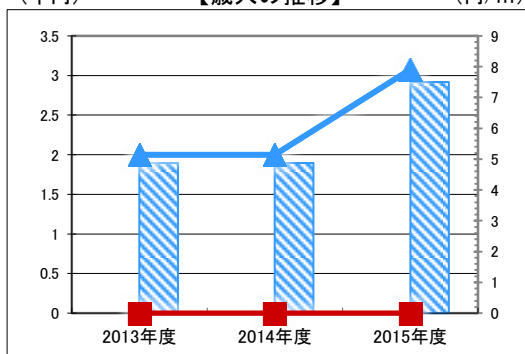
施設分類	其他公共用施設	総施設数	38
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	0	-
2014年度	0	0	-
2015年度	0	0	-

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

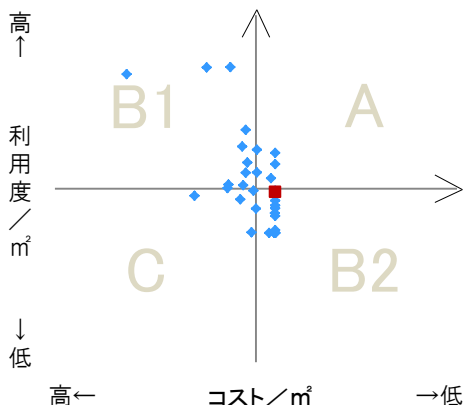
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	2552	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/01
施設基本情報					
施設名	小串 公衆便所				
所在地(住所)	南区小串0776-000-00				
所管局区室課	経済局観光コンベンション推進課				
FM大分類	その他施設	FM中分類	その他公共用施設		
財産中分類	公共用財産	地区	児島		
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	観光施設		
中学校区	光南台中学校	小学校区	小串小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし		
管理運営	直営	延床面積	38.31 ㎡		
目的外使用	無	建築面積	0.00 ㎡		
土地所有状況	—	敷地面積	856.00 ㎡		

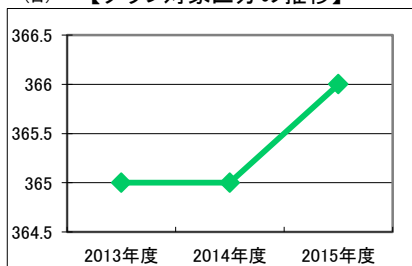


施設概要	コンクリートブロック造										
設置目的	観光の利便のため										
設置根拠	なし										
用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %						
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台						
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	出入口	×	洪水時の浸水深	指定なし	
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	—	津波時の浸水深	指定なし	
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×		階段	×	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域	
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度5弱の地域	
	調理設備	×		その他省エネ	×		便所	—	地震・液状化危険度	極めて低い	
	入浴設備	×		分煙対策	屋外喫煙		×	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1971/03/31	供用廃止日	—	

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	365	365	366	★
1日当たり運営時間	時間	24	24	24	
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2552 施設名 小串 公衆便所

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	0	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	0
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	-	
外	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0	0	0
非常勤	0	0	0

※運営人員数の人件費は理論値です。

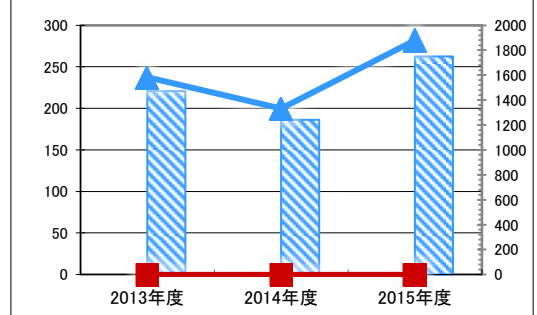
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

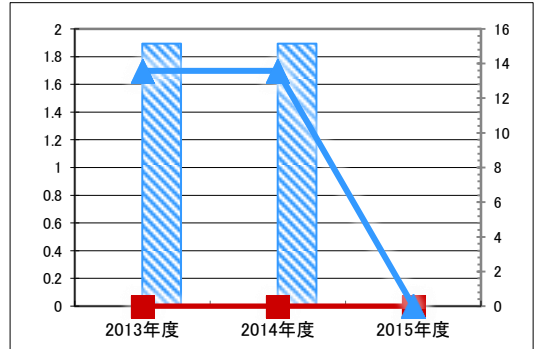
施設分類	その他公共用施設	総施設数	38
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	0	-
2014年度	0	0	-
2015年度	0	0	-

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

特記事項

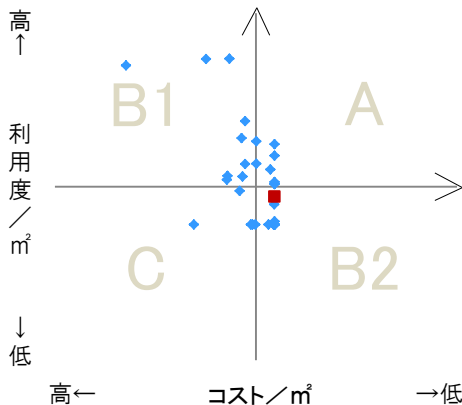
(両堤池野営場)

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

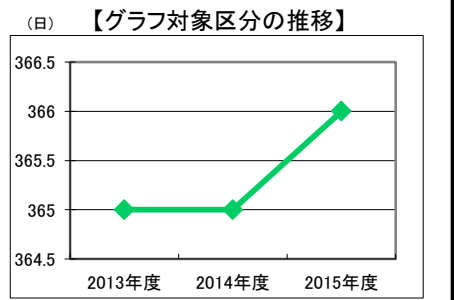
施設番号	2553	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/01
施設基本情報					
施設名	最上稲荷駐車場 公衆便所				
所在地(住所)	北区高松稲荷0475-000-00				
所管局区室課	経済局観光コンベンション推進課				
FM大分類	その他施設	FM中分類	その他公共用施設		
財産中分類	公共用財産	地区	高松		
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	観光施設		
中学校区	高松中学校	小学校区	庄内小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし		
管理運営	直営	延床面積	22.10 m ²		
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	118.61 m ²		



施設概要	公衆便所(男:大便器1、小便器4/女:大便器3、身障者用1)								
設置目的	観光施設(公衆便所)								
設置根拠	なし								
用途地域	—	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %				
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし	
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×	階段	×	地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×	便所	○	地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	開設年月日	1989/06/30	供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	365	365	366	★
1日当たり運営時間	時間	24	24	24	
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2553 施設名 最上稲荷駐車場 公衆便所

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		264	320	351	
内 需用費	消耗品費	-	13	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	27	29	27
		ガス	0	0	0
		水道	14	14	14
	修繕費	4	-	72	
外	役員費	130	175	148	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	90	90	90	

●運営人員数(人)

常勤	0	0	-
非常勤	0	0	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

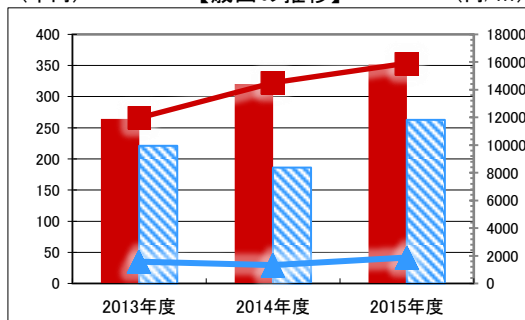
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

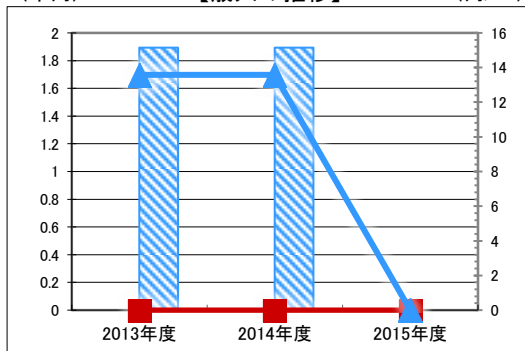
施設分類	その他公共用施設	総施設数	38
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	264	第8位	11,958 第12位
2014年度	320	第8位	14,497 第10位
2015年度	351	第9位	15,902 第9位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

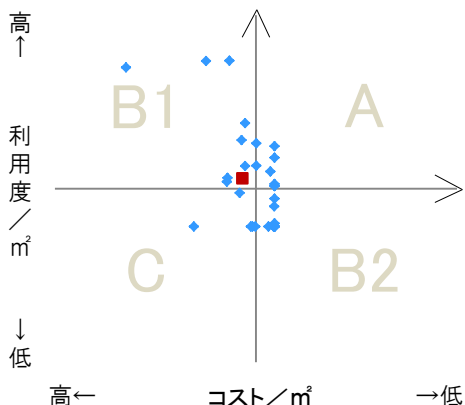
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

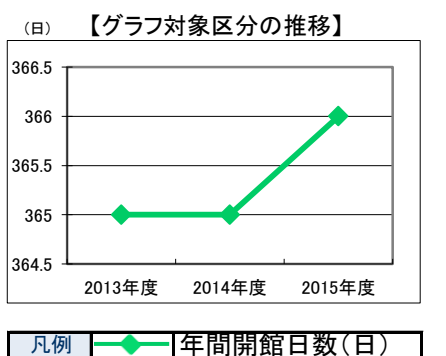
施設番号	2556	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/01
施設基本情報					
施設名	吉備津彦神社 公衆便所				
所在地(住所)	北区一宮1043-000-00				
所管局区室課	経済局観光コンベンション推進課				
FM大分類	その他施設	FM中分類	その他公共用施設		
財産中分類	公共用財産	地区	一宮		
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	観光施設		
中学校区	中山中学校	小学校区	中山小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし		
管理運営	直営	延床面積	23.60 m ²		
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²		



施設概要	公衆便所(男 大便器1小便器3 女 大便器3 身障者用1)									
設置目的	観光施設(公衆便所)									
設置根拠	なし									
用途地域	—	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %					
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1 棟	駐車台数	100 台					
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×		地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域		
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
	調理設備	×		その他省エネ	×		地震・液状化危険度	低い		
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし		土砂災害計画区域等	指定なし		
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1989/03/31	供用廃止日	—
							出入口	○		
				廊下等	—					
				階段	—					
				昇降機	—					
				便所	○					
				駐車場	○					

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	365	365	366	★
1日当たり運営時間	時間	24	24	24	
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2556 施設名 吉備津彦神社 公衆便所

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		372	371	560	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	28	31	29
		ガス	0	0	0
		水道	10	10	11
修繕費	-	-	40		
役務費		243	240	271	
委託料		-	-	-	
使用料及び賃借料		-	-	-	
備品購入費		-	-	-	
その他経費		90	90	209	

●運営人員数(人)

常勤	0	0	-
非常勤	0	0	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

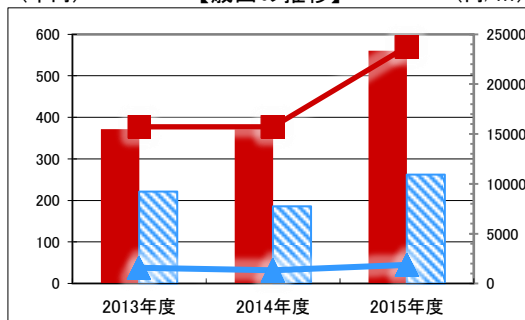
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
内 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

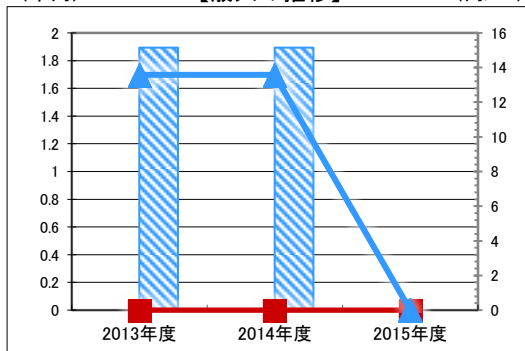
施設分類	その他公共用施設	総施設数	38
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	372	第6位	15,751 第7位
2014年度	371	第6位	15,716 第8位
2015年度	560	第4位	23,740 第4位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

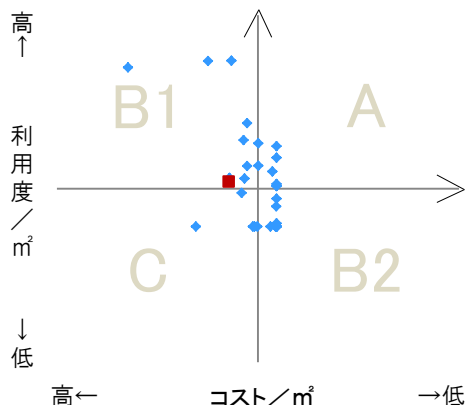
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

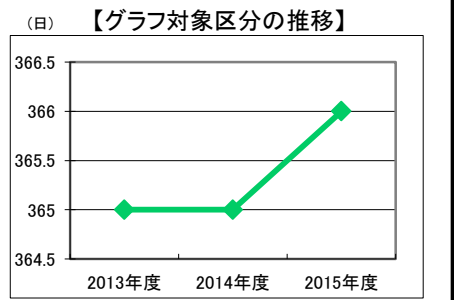
施設番号	2557	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/01
施設基本情報					
施設名	吉備津神社駐車場 公衆便所				
所在地(住所)	北区吉備津0913-001-00				
所管局区室課	経済局観光コンベンション推進課				
FM大分類	その他施設	FM中分類	その他公共用施設		
財産中分類	公共用財産	地区	高松		
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	観光施設		
中学校区	高松中学校	小学校区	鯉山小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし		
管理運営	直営	延床面積	31.60 m ²		
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²		



施設概要	公衆便所(男 大便器1小便器3 女大便器3 身障者用1)								
設置目的	観光施設(公衆便所)								
設置根拠	なし								
用途地域	—	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %				
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1 棟	駐車台数	73 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし	
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	—	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×	階段	—	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×	昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度5強の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×	便所	○	地震・液状化危険度	低い
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし	駐車場	○	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	開設年月日	1989/05/31	供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	365	365	366	★
1日当たり運営時間	時間	24	24	24	
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2557 施設名 吉備津神社駐車場 公衆便所

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		395	371	547	
内 需用費	消耗品費	7	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	33	30	29
		ガス	0	0	0
		水道	10	10	12
修繕費	20	-	-		
外	役務費	235	240	388	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	90	90	119	

●運営人員数(人)

常勤	0	0	-
非常勤	0	0	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

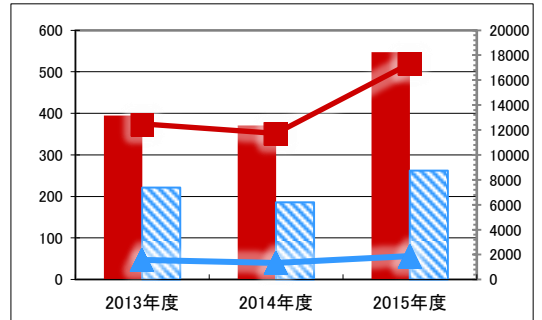
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

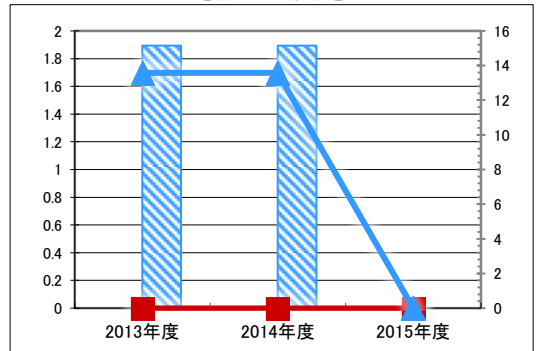
施設分類	その他公共用施設	総施設数	38
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	395	第4位	12,484 第9位
2014年度	371	第7位	11,726 第12位
2015年度	547	第5位	17,326 第7位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

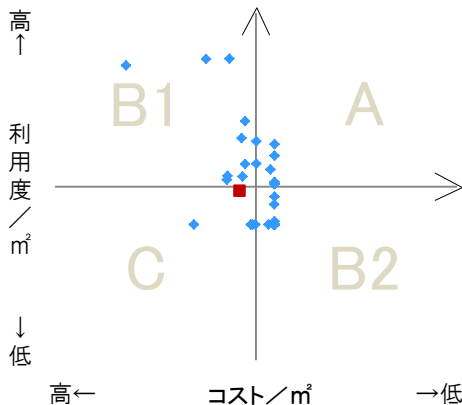
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	2560	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/01
施設基本情報					
施設名	虎口池 野営場避難所				
所在地(住所)	南区宮浦1961-001-00				
所管局区室課	経済局観光コンベンション推進課				
FM大分類	その他施設	FM中分類	その他公共用施設		
財産中分類	公共用財産	地区	児島		
財産小分類	その他の公共用財産	財産細分類	観光施設		
中学校区	光南台中学校	小学校区	甲浦小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし		
管理運営	直営	延床面積	59.00 m ²		
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	7,190.00 m ²		

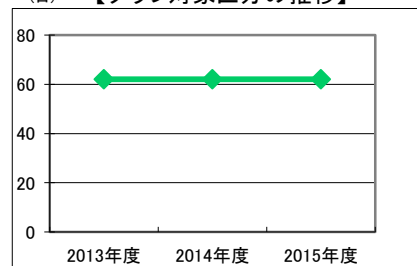


施設概要	野営場用避難所					
設置目的	野営場の避難所					
設置根拠	—					
用途地域	—	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %	
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	○	自然エネルギー・太陽光	×	出入口	×
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	×
	冷暖房設備	×	設備(電気)	×	階段	×
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	昇降機	×
	調理設備	×	その他省エネ	×	便所	×
	入浴設備	×	分煙対策	指定なし	駐車場	×
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	開設年月日	1982/04/01
					供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日	62	62	62	★
1日当たり運営時間	時間	24	24	24	
在籍者数	人				
利用者数	人	637	161	326	
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆—◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

虎口野営場は岡山県の施設であり、県から管理委託を受けている。その中に当該避難所のみ市が建設している。記載の利用者数は野営場の利用者数。(開設期間7月～8月)

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 2560 施設名 虎口池 野営場避難所

財務情報

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	0	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	0
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

常勤	0	0
非常勤	0	0

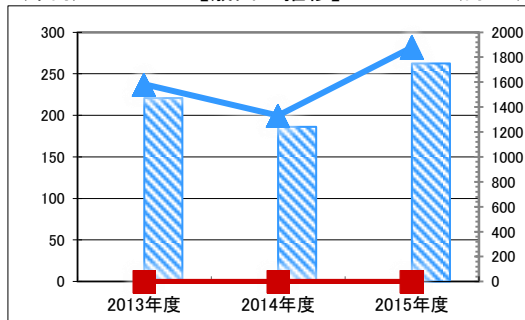
※運営人員数の人件費は理論値です。

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 訳	指定管理	利用料金	-	-
		(使用料)	-	-
		目的外使用料	-	-
	その他	-	-	
直営	使用料及び手数料	-	-	
	目的外使用料	-	-	

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

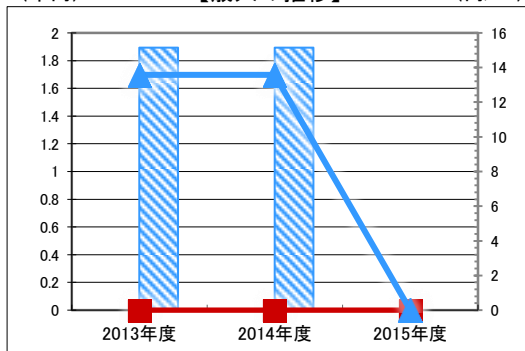
施設分類	その他公共用施設	総施設数	38
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	0	-
2014年度	0	0	-
2015年度	0	0	-

【歳出の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

【歳入の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

特記事項

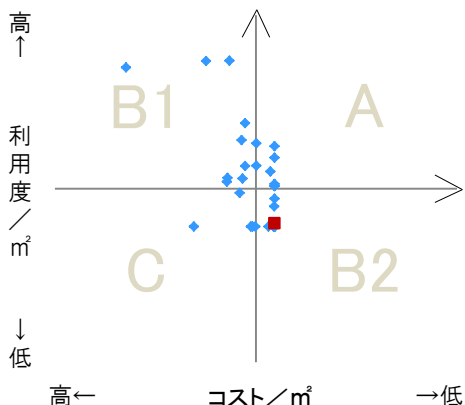
土地所有状況について: 敷地は宮浦財産区所有。野営場敷地として岡山県と当該財産区で無償貸付契約済(S52~)

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

